

家庭教育学級



だより 30年度第3号

編集：札幌市教育委員会 家庭教育学級担当 山本、梶田

◆ 各学級への訪問記（第3弾） ◆

皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。今年度最後の「学級だより」になります。まずは、各学級の学習会に参加させていただいた時の様子をご紹介します。

1 厚別北小学校 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：コミュニケーションを深めるアナログゲーム

講師：菊地 三奈さん（おもちゃコンサルタントマスター）

◎学習したこと

学習会の前半は、スマートフォンやインターネットに内在する危険性（SNSでの情報掲載、自律神経・視神経をはじめ身体に与える影響など）を学び、後半には参加者の皆さんがアナログゲームを実際に体験しました。

アナログゲームには、遊びとしての面白さだけでなく、子どもが成長する要素がたくさん含まれていました。例えば、勝つためには工夫や努力が必要であること、負けた時の悔しいという感情、対面で自然と取れるコミュニケーションなど、どれも「生きる力」として必要なものだと思います。

◎学習会に参加して

アナログゲームの体験では、市教委の2名も交せていただきました。学級生の皆さんはすぐに適応し、大いに盛り上がってゲームされる中、私どもは皆さんに付いていくのが精一杯でした・・・瞬時に判断し、身体を動かす俊敏さが求められます。

現在主流になっているTV・スマホ等のデジタルゲームに比べると、**アナログゲーム**は身体も頭も動かす（発声とともに手指を動かすなど）ので、**記憶に深く残ります**。家族団らんの時間にやれば、**お子さんの心には楽しく・温かい思い出**として、しっかり刻まれるものと思います。知らないうちに単語（国名、図形、熟語など）を覚えていく学習効果があるのも魅力的ですね。



2 中の島小学校 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：おうち学習でやった方がいいこと、やらなくていいこと
講師：田中 里実さん（北海道情報大学医療情報学部 講師）



◎学習したこと

現役の大学教員である田中先生から、「義務教育の後」を見据えたお話を聞くことができました。子どもが自立した時どうなっていてほしいかを思い描き、親はどうサポートしていくのが良いか。長期的な視点で、子育てに必要なことを教えていただきました。

◎学習会に参加して

子どもが進みたい道を歩めるよう、親として応援するにはどうしたらいいか。保護者の皆さんなら、誰もが一度は考え、そして不安を感じたことがあるのではないのでしょうか？

親がやらせたいことと、子どもがやりたいことは必ずしも一致しないと思います。社会情勢が瞬間に変化し、**大学入試の制度も大きく変わろうとしている昨今**、子どもたちに求められる「努力」、親としての「姿勢」について、田中先生自身の体験を踏まえながらお話しいただきました。先生は、学校ではできないこと・**おうちでしかできない学習法のアイデア**（休日の予定プランニング法など）をたくさんお持ちでした。

3 山鼻小学校 の皆様、ありがとうございました！

テーマ：親子でふれあい、共に学ぶ「札幌地方裁判所見学」
案内役：札幌地方裁判所事務局 総務課広報担当 西川さん

◎学習会の流れ

①裁判所職員の方から説明



⇒

②模擬裁判



⇒

③法廷内見学



◎学習会に参加して

模擬裁判では、子どもたちが裁判官役・弁護士役などに分かれ（被告人役は、なんと学級長自らお務め！）、裁判の一連の流れを体験しました。模擬とはいえ本格的な内容で、有罪か無罪かを考える場面で、**子どもたちは人が人を裁くことの難しさを感じたようでした**。法廷内見学では、皆とても興味深そうに、あちこちを見て廻っていました。特に、裁判長の法衣服が子どもたちの一番人気でした。

日頃なかなか足を踏み入れない場所で、社会の制度に触れながら親子で学べる今回の学習会。「司法」という言葉に初めて触れたお子さんや、検察官・弁護士という職業に興味をもったお子さんもいたかもしれません。

おうちでも、裁判のニュースはよく流れます。そんな時、親子一緒に体験したことを話題にしながら会話することもできると思います。**お子さんが、ニュースを見る目も違ってくるかも**。

◆ 親育ち応援団講演会の開催報告 ◆

おかげ様で、大変多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。講演の内容や、参加者の方からいただいた声を、簡単にご紹介します。

【開催概要】

日 時：平成30年12月22日（土）10時～11時30分

場 所：わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）

講 師：白井 一幸 氏（北海道日本ハムファイターズ元球団コーチ）

テーマ：常勝チームに見る 育てる極意

参加者：1,210人

【講演内容】

白井さんが指導者として就任した当初は成績が低迷していたチームを、わずか数年で「常勝チーム」に変革させた**選手育成・指導のエッセンス**について、簡易な言葉でわかりやすくお話しいただきました。

わずかなコミュニケーションの取り方の違いが、結果に大きな違いをもたらすことに気づかされました。人材育成に限らず、親子間・夫婦間のコミュニケーション、職場等での人間関係にも応用できるお話です。

また、冗談を交えながら話したり、参加者との掛け合いをしながら進行する場面もあり、客席からは頻繁に笑い声があがりました。



【参加者から】

- ・子どもや主人に対するコミュニケーションについて、もう一度よく考えて見なければならぬなと深く考えさせられる内容でした。”脅したり、委縮させたり”していたかもしれません。今回の講演会を聞きながら、自分がしてきたことに涙が出ることもありました。どんな時もあきらめずに、子どもが自分の意志で一歩踏み出せるように関わってあげたいと心から思えました。ありがとうございました。
- ・このような内容が、子育てをする沢山の方々に伝わることを願います。白井さん、いつもキビキビした話しぶりで、心に響くお話をありがとうございます。ファイターズ育成初期の事も伺え、なお一層ファイターズのある札幌の子育てがコーチング子育てとなることを願い、できることをさせていただきたいと思いました。
- ・こんなに面白く、ためになる講演会は初めてかもしれません。白井コーチの経験して来た事をわかりやすく、子育てに関連付けてのお話が、とっても面白かったです。あっという間の90分間でした。白井コーチの講演第2弾の企画をお願いします。

【次回予告】

平成30年9月7日（金）に開催予定で、北海道胆振東部地震により中止となった【第1回】の親育ち応援団講演会は、**平成31年3月1日（金）に延期開催**を決定しました！

講師は「こどもコンサルタント」で「スーパー保育士」との呼び声高い **原坂 一郎** さんです。皆様、ぜひご参加ください。

☆お申込みフォームへGO！ →



◆ 「完了届」の提出について ◆

早いもので、平成 30 年度も終わりが見えてきました。年度の初めと終わりにはお願いばかりで、心苦しいところではあります・・・

今年度の「完了届」は、**平成31年3月15日（金）までにご提出**ください！

【「完了届」の記入方法】

- ★記入例を参考に の箇所を記入
- ★PTA会長の印鑑を **印** 2箇所に押印
(契約書に押印したものと同一印鑑が必要)
(訂正印を押印することにより、些細な誤りがあった場合、市教委で訂正可能になります)
- ★1「学級生数」は、最終的な学級生数を記入
- ★2「学習回数」は、契約時の回数を記入

※確認したい点やご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。

**【連絡先】 TEL: 211-3872
FAX: 211-3873**

(あて先)

平成31年3月1日

平成30年度 札幌市家庭教育学級 完了届

中央 区	札幌市立〇〇小学校	
組織名	P T A 名	
代表者名	札幌市立〇〇小学校父母と先生の会 会長 家庭 太郎	印
住所	札幌市 中央 区 北2条西2丁目STV北2条ビル4F	

平成30年度札幌市家庭教育学級の開設及び運営が完了したので、お届けします。

1 学級生数 (**20**) 人

2 学習回数 (「家庭教育に関する学習」は契約した回数を実施)

家庭教育に関する学習 (**4**) 回
(学習内容の詳細については、学習報告書等で逐次報告した通りです。)

捺印

【「出納簿」の留意点】

完了届には、「出納簿」を添付いただく必要があります。

教育委員会からの委託料は、**飲食費**には使えません。それ以外の収入があった場合、その額を超えない範囲であれば、飲食費の計上は問題ありません。

いつ、何に、いくら使ったのかわかるように、ご記入をお願いします。

区分は、「収入・報償費・消耗品費・会場費・通信費・交通費・その他」から1つを選択してください。

【記載例】
平成30年度 〇〇小学校家庭教育学級 出納簿

No.	月日	区分	摘要	収入	支出	残額
1	〇月〇日	専入	札幌市からの委託料	30,000		30,000
		専入	PTAからの補助金	10,000		40,000
3	〇月〇日	消耗品費	紙、文房具		2,500	37,500
4	〇月〇日	消耗品費	印刷費		1,000	36,500
5	〇月〇日	交通費	合同学習会交通費 400円×4名	1,600		34,900
6	〇月〇日	報償費	講師謝礼(第1回学習会)		10,000	24,900
7	〇月〇日	その他	講師用のお茶		200	24,700
8	〇月〇日	通信費	電話代(5,000円×1名、〇〇氏)		5,000	19,700
9	〇月〇日	会場費	会場使用料(〇〇区民センター)	3,000		16,700
10	〇月〇日	報償費	講師謝礼(第2回学習会)		5,000	11,700
11		消耗品費	学習会教材費(280円×15名)		4,200	7,500
12	〇月〇日	専入	教材費参加者負担金(280円×15名)	4,200		11,700
13	〇月〇日	交通費	情報交換会交通費(400円×3名)		1,200	10,500
14	〇月〇日	報償費	講師謝礼(無料・交通費のみ)(第3回学習会)		1,000	9,500
15	〇月〇日	消耗品費	紙、文房具		1,500	8,000
		報償費	講師謝礼(第4回学習会)		8,000	0
17						
18						
19						
20						
21						
合 計				44,200	44,200	0